

ロボット支援下・腹腔鏡下で子宮の手術を受けられる

(前日入院)

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)












様へ

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日(手術前日)	当日(術前)	当日(術後)
目標	手術に対する不安を伝えることができ、最小限となる		異常な出血がない 創部痛(下腹部)が緩和し、苦痛が最小限となる
検査	身長体重を測ります		 採血と尿の検査があります 
食事	制限はありません ※食品アレルギーは予め申し出てください * 21時以降何も口にしないでください	絶飲食です	昼食から全粥食となります
	朝食は自宅  		 
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します お臍の処置と剃毛を行います 就寝前に洗腸をします リストバンドを装着します(退院日まで装着します)	 午前中に診察があります 手術室で尿の管を挿入します 点滴の針を挿入します	 術後は頻回に測定します 術後酸素マスクがついています  歩行できれば尿の管を抜きます 点滴終了後針を抜きます
	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  腸のガスを少なくする薬を服用します  就寝前に下剤を服用します	 指示により手術前に点滴を行う場合があります	 手術後の点滴があります * 痛み・むかつきなどがあれば看護師に申し出てください
行動	弾性ストッキングのサイズを合わせます  制限はありません  シャワーできます	 洗面後手術着に着替え、弾性ストッキングをはいてください オムツ・ナプキンをお預かりします	 床上安静となります * 膝の曲げ伸ばし、足首の運動は行ってください  (許可があれば)座位ができます  可能なら午後より歩行できます  全身を清拭します タオル2枚を用意してください
	 医師より説明 ・手術と治療計画について  麻酔科医師より説明 ・麻酔について  看護師より説明 ・入院生活について ・手術中の体位について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 看護師より説明(家人の方に) ・手術室の場所と入室方法について	 看護師より説明 ・早期離床について

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日
経過	術後 2 日目		術後 3 日目
目標	退院後の生活上の注意点が理解できる		
検査			 採血があります
食事	常食となります		採血・診察の結果問題なければ朝食後退院となります
			
処置・観察	 体温・脈拍・血圧酸素飽和度を測定します		 
	創の状態を確認します		診察があります 退院時にリストバンドを外します
点滴・内服			
行動	 歩行できます		
	 発熱がなければシャワーができます * 入院中入浴はできません		
説明	 医師より説明 ・退院後の治療について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について		

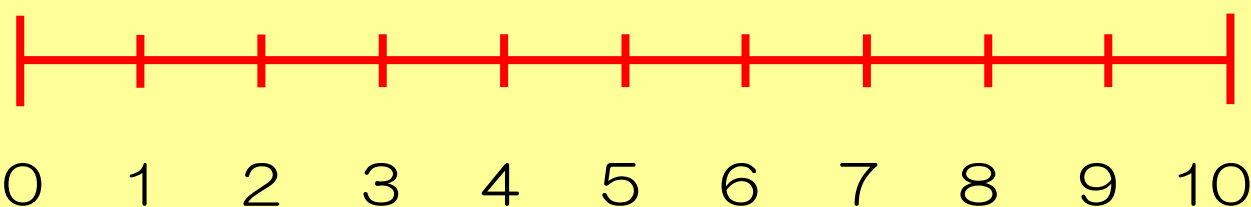
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

👉 **手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



痛みがない

中等度の痛み

最大の痛み

APS チームがサポートします。

よろしく申し上げます。

